

南海中学校南側防球ネット改修工事

図面番号	図 面 名
A - 0	表題・図面リスト
A - 1	改修特記仕様書 (1)
A - 2	改修特記仕様書 (2)
A - 3	改修特記仕様書 (3)
A - 4	付近見取図・全体配置図
A - 5	改修前配置図兼仮設計画図
A - 6	改修後配置図
A - 7	改修前・後展開図、詳細図①
A - 8	詳細図②
A - 9	側溝改修図
A - 10	【参考図】地盤柱状図
A - 11	【参考図】別途工事 付近見取図・配置図兼仮設計画図

南海中学校南側防球ネット改修工事

特記仕様書

I 工 事 概 要

1. 工事場所

高知市長浜5,235番地

2. 工事種目

防球ネット改修

一式

3. 関連工事等

電気設備工事・機械設備工事・ガス設備工事・昇降機設備工事・植栽工事・合併処理装置設置工事・外構工事

4. 概成工期

完成期限の()日前 (令和 年 月 日)

(1.2.1)

5. 部分使用(工事請負契約書第34条第1項)

令和 年 月 日からは、全ての室内部分を使用する。

6. 別途工事

南海中学校屋内運動場防水改修工事 予定工期 令和7年10月下旬～令和8年1月下旬)

II 建 築 工 事 仕 様

1. 特記仕様

1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。
3) 特記事項に記載の()内表示番号は、「公共建築工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

2. 適用基準等

図面及び特記事項に記載されていない事項は、全て国土交通省(建設)大臣官房官庁営繕部監修の以下による。
※ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版)
※ 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版)
※ 建築工事標準詳細図 (令和4年版)
※ 敷地調査共通仕様書 (令和4年版)
※ 建築物解体工事共通仕様書 (令和4年版)

3. 「週休2日制モデル工事」の実施について

○対象 (※ 発注者指定型 ○ 受注者希望型)
本工事は、工事着手日から工事完成日までの間の土曜日及び日曜日を現場の休工日の基本とする「週休2日制モデル工事」の対象工事である。実施にあたっては高知市「週休2日制モデル工事」実施要領(営繕工事編)による。
(<https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/123/syukyuhutsuka.html>)
・対象外(理由:)

項 目

特 記 事 項

一般共通事項

① 工事実績情報サービス(CORINS)への登録(請負金額500万円以上)(受注,変更,完成時)

登録の手続きについては、(一財)日本建設情報総合センターの「建設実績情報のコリンズテクリス登録等に関する規約」による。 [1.1.4]

2 総合工程表

原則、工事の着手に先立ち、別契約関連工事の受注者と協議し、受注者及び別契約関連工事の受注者連名による総合工程表を監督職員に提出する。

3 総合図

工事の施工に先立ち別契約関連工事の受注者と調整のうえ、総合図を作成し、監督職員の承諾を受ける。 [1.2.3]

④ 工事日誌

週ごとに工事の全般的な経過及び次週の工事予定を記載した日誌を監督職員に提出する。
また、工事の経過が明確にわかる写真を貼付すること。 [1.2.4]

⑤ 工事写真

工事写真はし版程度とし、工事の内容、日付等必要事項を記入し1部提出する。(A4版台紙)
撮影方法は、「営繕工事写真撮影要領(令和5年版)」による。
デジタル工事写真の小黒板情報電子化の実施をする場合は、監督職員の承諾を受ける。
なお、実施については、国営建技第14号(令和5年3月1日付)「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について」による。 [1.2.4]

⑥ 下請負者の報告

各下請負者については下請負契約前に監督職員に報告する。

7 電気保安技術者

適用する。 [1.3.3]

⑧ 施工条件

施工日及び施工時間 ※1.3.5(1)(7)による。 [1.3.5]
工事用車両の駐車場所及び資機材の置場所
※ 仮囲内
その他の施工条件
○資機材の搬出入時には、専任の誘導員を配置する。その他の場合でも、工事関係車両(乗用車も含む)が敷地内を通行する際には必ず誘導するものをつけ、公道まで後行する。
○登下校時間帯や休み時間等は車両の通行を中止する等必要な配慮をする。
○図示(A-5参照)
○施工に関して、道路法及び道路交通法に基づき、事前に必要な許可を得ること。
なお、高知市道路占用料徴収条例による道路占用料は別途とする。

⑨ 交通誘導警備員

交通誘導警備員を配置する場合は、原則として警備業法(昭和47年法律第117号)第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置することとし、建設作業員等の他職種の者を従事させないこととする。ただし、一時的な作業等で、安全確保に対処できると監督職員が認めたものについては、この限りでないものとする。
配置人員等 ・令和 年 月 日から令和 年 月 日までの間は 名常駐する。
・作業日は 名常駐する。その他監督職員と協議し、適宜配置する。
○監督職員と協議し、適宜配置する。
配置人員の資格
・1名以上／1班は交通誘導警備業務に係る検定合格者(1級又は2級)を配置する工事。
※交通誘導に關し、1名以上／1班は専門的な知識及び技能を有する警備員等を配置する工事。
資格 資格要件 配置人数
1,2級交通誘導警備員検定合格者 交通誘導警備に關して、公安委員会が学科及び実施試験を行い、専門的な知識及び技能を有すると認めたもの(交通誘導警備員A) 人
交通誘導に關し、専門的な知識及び技能を有する警備員等(警備業法第2条第1項第2号の警備業務)を現に受けているもので、交通(交通誘導警備員B)誘導に關する警備業務に従事した期間(実務経過年数)が1年以上であるもの 10 人
なお、事前に監督職員に検定合格証の写し等の資格要件の確認できる資料を提出する。
また、警備員等に変更が生じた場合は、速やかに監督職員に同様の資料を提出する。

⑩ 工事安全計画書

建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。

⑪ 統括安全衛生管理義務者の指名

労働安全衛生法第30条第2項に基づき指名をする。

項 目

特 記 事 項

⑫ 発生材の処理

産業廃棄物の運搬、処分等については、1.3.12により適切に処分するものとし、 [1.3.12]
事前に監督職員に処理計画書を提出する。
産業廃棄物の運搬、あるいは処分を他業者に委託する場合は、書面による委託契約を行い、処理計画書にその写しを添付する。
自己処分場で処分する場合は、その処分場が関係法令の規定に適合する旨の資料を提出し、監督職員の現地立会を受けたうえで承諾を得る。(積替・保管についても同様とする)
産業廃棄物の収集・運搬に当たっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下廃棄物処理法という)施行令に基づく車両への表示及び書面の備え付けを行うこと。
また、産業廃棄物を搬出する車両について、処分場ごとに1台のみ写真撮影(現場搬出時及び処分場到着時)し、随時監督職員に報告する。
廃棄物処理法を遵守し、工期内に最終処分(埋立処分、海洋投入処分又は再生)を終了しなければならない。
また、産業廃棄物管理票(以下マニフェストという)により適正に処理されていることを確認するとともに、監督職員にそのE票の写しを提出する。
ただし、廃棄物処理法を遵守した上で、工期内に産業廃棄物の最終処分を終了することが困難な場合で、監督職員が認める場合においては、工期内に中間処理業者への搬入が終了すればよいものとする。この場合、マニフェストにより適正に中間処理業者に搬入されていることを確認するとともに、監督職員にそのB2票の写しを提出する。また、最終処分終了後速やかにE票の写しを提出する。
なお、廃棄物処理法に定める情報処理組織を使用する場合は別途協議する。
・引渡しを要するもの ()
・現場再利用を図るもの ()
○再資源化を図るもの (※コンクリート ※コンクリート及び鉄から成る建設資材 ※木材 ※アスファルトコンクリート)
特別管理産業廃棄物の施工計画調査
※行う ・行わない
分析調査
※施工計画調査の結果により、監督職員と協議する。
・行う () ・行わない ()
・PCBを含む機器類
・変圧器
・コンデンサ
・蛍光灯、HID灯器具の安定器
・その他 ()
・PCB含有シーリング材
・廃油
・腐酸 腐アルカリ
・臭化リチウム水溶液
・電池の溶解液
・ダイオキシン類

⑬ 再生資源利用(促進)計画書及び実施書の提出(請負金額100万円以上)

再生資源利用(促進)計画書及び実施書を、建設副産物情報交換システム(コプリス・プラス)により作成し、提出は以下による。
a) コプリス・プラスについては、建設副産物情報センターのホームページ(<https://fkplus.jaic.or.jp>)より、利用申請等を行うことができる。
b) 建設資材の利用量の大小や有無に関らず、紙に出力した再生資源利用計画書及び実施書(建設リサイクルガイドライン様式1)を、完成資料として監督職員に提出する。
c) 建設副産物の発生量及び搬出量の大小や有無に関らず、紙に出力した再生資源利用促進計画書及び実施書(建設リサイクルガイドライン様式2)を、完成資料として監督職員に提出する。
d) 受注者は再生資源利用(促進)計画書(現場掲示用様式)を工事現場の見やすい場所に掲げること。
e) 受注者は作成したデータを含め、再生資源利用(促進)計画書及び実施書を工事完成後5年間保存する。

⑭ 工事の保険

工事請負契約後、速やかに工事目的物、工事材料等に生じる損害、第三者に及ぼした損害を補償する保険を締結する。保険期間は、工事着工のときから完成期限より24日後以降までの期間とする。
※ 金銭的保証方式 ・
・有 ○ 無

⑮ 契約保証

⑯ 前払金支出割合区分補正

⑰ 証明書の提出(グリーン購入法)

「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(グリーン購入法)及び「高知県グリーン購入基本方針及び実施計画」に基づき、重点調達品目については、積極的に利用すること。なお、重点調達品目の中で木材・木材製品等においては、その原料とされる原木が生産された国における森林に関する法律に照らして合法なものを使用する。
木材・木材製品等については、県産木材納入証明書、県外産合法木材納入証明書を監督職員に提出すること。 [1.4.2]

⑱ 石綿含有建材の調査

事前調査の報告 一定規模以上の工事は労働基準監督署と高知市に報告が必要となる
事前調査範囲 ※ 改修範囲 [1.5.1]
貸与資料 ※有 (・既存の設計図書)
※ 無
分析調査 ※ 書面調査及び現地での目視調査の結果により、監督職員と協議する。
・行う (調査建材使用部位 調査建材名 検体数)
分析方法 ※ 定性分析
定性分析の結果により、定量分析を行う場合は監督職員と協議する。

19 施工数量調査

調査範囲 ※ 図示 ・ 改修建物の外壁、軒天、パラペット ・ [1.6.2]
調査方法 ※ 外部足場を使用した目視及び打診 ・
破壊部分の補修方法 ※ 現状に復旧 ・
外壁調査は、外壁改修フローに対する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う。
また、その調査の結果を立面図等に記載し集計表を添えて電子データと共に、監督職員に報告する。(必要に応じ写真等を添付する)

20 技能士及び技能資格者

※適用する(○:一級,●:二級) [1.7.2][1.7.3]
工 事 種 別 技 能 検 定 の 作 業 の 種 別
・ 仮設工事 ※ ● とび作業(又は足場組立作業主任者) ・
・ 鉄筋工事 ※ ○ 鉄筋組立て作業 ・
・ コンクリート工事 ※ ○ コンクリート圧送工事作業 ・ ○ 型枠工事作業
・ 鉄骨工事 ※ ● とび作業
・ ブロック・ALCパネル工事 ・ ○ コンクリートブロック工事作業
・ (単一)エーエルシーパネル工事作業
・ 防水工事 ・ ○ アスファルト防水工事作業
・ ○ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業
・ ○ アクリルゴム系塗膜防水工事作業
・ ○ 合成ゴム系シート防水工事作業
・ ○ 塩化ビニル系シート防水工事作業
・ ○ セメント系防水工事作業 ・ ○ シーリング防水工事作業
・ ○ 改良アスファルトシートーチ工法防水工事作業
・ ○ F R P 防水工事作業
・ 石工事 ※ ○ 石張り作業 ・
・ タイル工事 ※ ○ タイル張り作業 ・
・ 木工事 ※ ○ 大工工事作業 ・

項 目

特 記 事 項

21 化学物質の室内濃度の測定

化学物質の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、 [1.7.9]
報告書を監督職員に提出する。
ただし、完成検査前に報告書の提出が困難な場合は、事前に信頼のおける通報等の資料を監督職員に提出する。この場合、後日に正式な報告書を速やかに監督職員に提出しなければならない。
測定する業者の選定にあたっては、あらかじめ監督職員に報告すること。
測定方法
※ 厚生労働省「室内空气中化学物質の室内濃度指針値及び標準的測定方法について」による。
測定対象化学物質
※ ホルムアルデヒド ※ トルエン ※ キシレン ※ エチルベンゼン
※ スチレン ※ パラジクロロベンゼン
測定箇所 ()箇所 施工前・施工後(計 回測定)
測定対象室 ()
なお、測定結果が厚生労働省の定める指針値を超えている場合は、原則として本工事の引き渡しを行わないこととする。ただし、次のいずれかに該当する場合は除く。
1 何らかの対策が施された結果、揮発性有機化合物の濃度が厚生労働省の定める指針値以下となったことが確認された場合。
2 濃度測定の結果が、本工事の施工により生じたものでないことが明確である場合。
3 濃度測定が、使用開始後(備品の搬入等を含む)に行われた場合。
本工事の引き渡し後、あるいは、使用開始後に室内の揮発性有機化合物(VOC)の濃度測定が行われ、測定結果が厚生労働省の指針値を超えている場合については、受注者は、工事引き渡し後であっても、その原因究明に当たって協力しなければならない。
また、本工事の施工が原因となって、化学物質の濃度が厚生労働省の定める指針値を超えたものであることが判明した場合は、受注者の負担により、その対策を講じなければならない。
内部養生に合板又は構造用パネルを使用する場合、その合板または構造用パネルのホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆、又はそれと同等と認められる製品を使用する。
本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。(記載順序は不同)また、「評価名簿による」と特記されたものについては、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」によるもの、又は評価の内容についてこれらと同等と認められるものとする。
ただし、同等とする場合は、監督職員の承諾を受ける。
県内産資材の優先使用
本工事に使用する資材は、機能、品質、価格等が同等であれば、県内産資材を優先して使用するものとする。なお、県外産資材を使用する場合は、使用理由を施工計画書の打合せ事項に記載し、監督職員の確認を受けること。
注1: 県内産資材とは、高知県内で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工した資材、又は高知県外で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工された資材をいう。
ただし、①木材は、高知県内の森林から生産されたもの、②生コンクリートの細骨材に配合する海砂は、高知県内で産出されたものとする。
注2: 県外産資材とは、県内産資材以外の資材をいう。
②4 特別な材料の工法
公共建築工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督職員の承諾を受けて当該材料製造所の指定する工法による。
②5 風圧力
本工事に使用する材料及び工法は、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応したものとし、速度圧を求める場合の風速(Vo)及び地表面粗土区分は、次の数値とする。
風速(Vo): ※ 38m/sec ・ 36m/sec 地表面粗土区分: ※ III ・ II
②6 仕上面の出隅処理
内外部とも仕上出隅で利用者の手の届く範囲は、図示が無くとも原則として全て面取りを施す。
木部(家具を含む) 6mm程度
コンクリート、モルタル部 20mm程度
鉄部、金属部 3mm程度
建具類等、上記により難い場合は、監督職員と協議する。
27 事業損失補償
※現場説明書による。
②8 完成時の提出図書
・ 完成図(作成範囲 ・ 配置図 ・ 平面図 ・ 立面図 ・ 断面図 ・ 仕上表) [1.9.1][1.9.2]
・ 完成図(CADデータの提出 ※する(CD-R等) ・ しない)
○ 保全に関する資料(提出部数 ※2部 ・ 部) [1.9.3]
上記のほか、使用材料のメーカー名、品番、色(マンセル値等)をCADデータ等で監督職員に提出する。
また、工種別下請負者の一覧表を提出する。
○ 施工図、施工計画書 [1.9.2]
提出した施工図及び施工計画書の著作に係る当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
下表のものを監督職員に提出する。
位 置 分類・規格 撮影枚数 部 数 原版の大きさ(mm)
・ 各室 手札版(L版) ※2枚 ・ 枚 ※1部 ・ 部 ・ 100 × 125以上
・ 外部 キャビネ版 ※4枚 ・ 枚 ※1部 ・ 部 ・ 24 × 36以上
・ 外部 半切パネル・木製枠 ※1枚 ・ 枚 ※1部 ・ 部
・ スライド ※1部 ・ 部
カラー・電子データ化(CD-R等)し、すべて提出する。
撮影箇所は監督職員と協議する。
上表のほか、監督職員指示の箇所をデジタルカメラにて撮影し、CD-R等にて提出する。
画像形式等 フォーマット: JPEG 画質:標準 画像サイズ:1024×768ピクセル程度

項 目

特 記 事 項

29 完成写真

下表のものを監督職員に提出する。
位 置 分類・規格 撮影枚数 部 数 原版の大きさ(mm)
・ 各室 手札版(L版) ※2枚 ・ 枚 ※1部 ・ 部 ・ 100 × 125以上
・ 外部 キャビネ版 ※4枚 ・ 枚 ※1部 ・ 部 ・ 24 × 36以上
・ 外部 半切パネル・木製枠 ※1枚 ・ 枚 ※1部 ・ 部
・ スライド ※1部 ・ 部
カラー・電子データ化(CD-R等)し、すべて提出する。
撮影箇所は監督職員と協議する。
上表のほか、監督職員指示の箇所をデジタルカメラにて撮影し、CD-R等にて提出する。
画像形式等 フォーマット: JPEG 画質:標準 画像サイズ:1024×768ピクセル程度

記 事

DAN 段 建築設計事務所 有限会社

〒781-0250 高知市瀬戸2-1-1 TEL&FAX 088-848-1286

高知県知事登録第831号 一級建築士 大臣登録第203220号 徳 廣 賢 一

作成

承認

工事名

南海中学校南側防球ネット改修工事

図面名

改修特記仕様書 (1)

項 目		特 記 事 項		項 目		特 記 事 項		項 目		特 記 事 項																																											
30 別途設備工事との 取合い	施工範囲	・ 貫通孔、開口部の補強 ※ 下表 ・ 図示 ・ 壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 ※ 下表 ・ 図示 ・ 駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ ・ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強		⑦ 仮囲い ※ 図示 ⑧ 仮設物撤去後の 整地・跡片付け ※ 原形の復旧 ・ 良土にて設計地盤まで盛土整地する。 範囲(図示) 厚さ() [2.5.1]	土工事 ① 埋戻し及び盛土 種別 ・ A種(水締めのみ砂質土) (3.2.3)(表3.2.1) ※ B種 ・ C種 ・ D種 ② 建設発生土の処理 ※ 構外搬出適切処理(搬出前に建設発生土の受入証明又は法令による許可書等を提出する) (3.2.5) ・ 構外指示の場所に処分(搬出調査等を提出する) ・ 受入れ施設名: ・ 受入れ場所: ・ 構内指示の場所に敷き均し ・ 構内指示の場所にたい積 500m3以上を構外搬出適切処理する場合は確認結果表を作成し、再生資源利用計画の添付資料とする。 (https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/123/kensetuhasseido-hannsyutusaki.html)	3 山留め 山留め工法 ・ 山留めの撤去 ※ 撤去する ・ 存置する (3.3.3)	地業工事 1 試験杭 位置、本数、寸法 ※ 図示 (4.2.2) 杭の種類 ※ 本杭 ・ 2 杭の載荷試験 試験の種類 ・ 鉛直載荷試験 ・ 水平載荷試験 (4.2.3) 試験位置 ()箇所 ※ 図示 ・ 試験深さ ・ 設計GLより()m 試験対象土質 ・ 最大荷重 ・ ()t 試験の方法及び報告書の記載事項 ※ 図示 ・ 3 地盤の載荷試験 試験の種類 ※ 平板載荷試験 ・ (4.2.4) 試験位置 ()箇所 ※ 図示 ・ 試験深さ ・ 設計GLより()m 試験対象土質 ・ 最大荷重 ・ ()t 試験の方法及び報告書の記載事項 ※ 図示 ・ 4 既製コンクリート杭地業 杭の種類 ※ 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭) ・ 外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭) ・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭) ・ 種類、性能、曲げ強度等による区分等 ※ 図示 ・ 寸法及び継手の箇所数 ※ 図示 ・ 杭先端部の形状 ・ 開放形 ・ 半開放形 ・ 閉塞形 ※ 図示 (4.3.3) 工法 ・ セメントミルク工法 (4.3.4) 支持層の位置及び土質: ※ 図示 ・ 掘削深さ及び杭の支持層への根入れ深さ: ※ 図示 ・ 杭の精度: 水平方向の位置ずれ寸法 ・ 杭径の1/4かつ100mm以内 ・ 傾斜 ・ 1/100以内 (4.3.3) (4.3.5) ・ 特定埋込杭工法(建築基準法認定工法) 工法: 支持層の位置及び土質: ※ 図示 ・ 杭の根入れ長さ: ※ 図示 ・ 杭の精度: 水平方向の位置ずれの精度 ・ 杭径の1/4かつ100mm以内 ・ 傾斜 ・ 1/100以内 (4.3.6) 杭の継手工法 ※ アーク溶接 (4.3.8) ・ 機械式継手 (工法: ※ 性能評価された工法 ・ ・ 杭頭の処理 杭頭の切断方法 ※ ダイヤモンドカッター ・ 材料 (4.4.3)(表4.4.1) ・ 鋼管ぐい 種類の記号(・ SKK400 ・ SKK490) ・ H形鋼ぐい 種類の記号(・ SHK400 ・ SHK490M) 寸法 ※ 図示 ・ 工法 特定埋込杭工法(建築基準法認定工法) (4.3.3)(4.3.5) 支持層の位置及び土質: ※ 図示 ・ 杭の根入れ長さ: ※ 図示 ・ 杭の精度: 水平方向の位置ずれの精度 ・ 杭径の1/4かつ100mm以内 ・ 傾斜 ・ 1/100以内 (4.4.5) 杭の継手工法 ※ 図示 (4.4.6) ・ 杭頭処理 杭頭の切断方法 ※ ガス切断 ・ 図示 (4.4.6)	⑦ 砂利及び砂地業 材料 (4.6.2) 砂利地業 ※ 切込砂利又は切込砕石 ◎ 再生クラッシュラン(直接基礎下を除く) 砂地業 ・ 山砂 ・ 川砂又は砕砂 厚さ ○ 図示 ※ 60mm (4.6.3) ⑧ 捨コンクリート地業 コンクリートの種類 ※ 普通コンクリート (6.14.1) 設計基準強度(Fc) ※ 18N/mm2 ・ 18cm スランブ ※ 15cm (4.6.4) 厚さ ※ 50mm 9 床下防湿層 施工範囲 ※ 建物内土間スラブ及び土間コンクリートの直下(ピット下を除く) (4.6.5) (断熱材がある場合は、断熱材の直下) ・ 図示 ・ ポリエチレンフィルムの厚さ ※ 0.15mm																																													
	補 強 種 別	内 容																																																			
	貫通孔、開口部の補強	梁	壁						スラブ																																												
	壁切込み及び補強																																																				
	天井切込み及び補強																																																				
③ 撤去部分	コンクリート、モルタル等の撤去部分の境目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。																																																				
③ 不当要求等への対応	暴力団又は暴力団関係者からの不当要求又は工事妨害(以下この文において「不当介入」という。)の排除については次による。 a) 受注者は、暴力団又は暴力団関係者からの工事の施工に関して不当介入を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 b) 受注者は、不当介入による被害を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 c) 受注者は、監督職員及び所轄警察署と協力して、不当介入の排除処理を講じなければならない。 d) 受注者が、不当介入の報告を怠った場合は、「高知市競争入札指名停止措置要綱」に基づき、指名停止措置を行うものとする。																																																				
33 消防計画	工事の着手にあたり、火災等の災害の予防や、使用部分と工事中の部分の安全を確保するため、別契約の関連工事業者と協議の上、「工事中の消防計画書」を作成し、当該施設の防火管理者の承諾を得て届出を行う。																																																				
④ 工事特性等	受注者は、自ら立案した工事特性、創意工夫、社会性等のそれぞれの評価項目について、実施しようとする場合は、事前に計画内容を所定の様式で監督職員に提出する。 また、実施後、工事完成時までに所定の様式に実施状況の分かる図面や状況写真を添付して監督職員に提出する。																																																				
仮設工事(改修)																																																					
1 足場その他	内部足場 ※ きゃたつ、足場板等 (2.1.3)[2.2.1][表2.2.1] 外部足場 ※ 本足場 外部足場の養生 ※ 図示 ・ 防護シート ・ メッシュシート ・ 防音シート ・ 防音パネル 材料、撤去材の運搬方法 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 C種の場合 利用可能なエレベーター(※図示) D種の場合 利用可能な階段(※図示) ・ 屋上防水作業の端部には、墜落防止手摺等墜落の危険を防止する措置を講ずる。 本足場を設ける場合は、公共建築改修工事標準仕様書2.2.1(2)によるほか、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。																																																				
② 養生	○ 既存部分の養生 ※ ビニルシート、合板等 (2.3.1) ・ 既存家具、既存設備等の養生 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生、保管場所 ※ 図示 ・ 固定された備品等の移動 ※ 図示 ・ 開口部養生 窓等の破損の危険がある工事を行う場合は、施工を行う周辺及びその下部の窓等には、室内に破損物等が飛散しない様、堅固な養生を行う。																																																				
3 仮設間仕切り(屋内)	設置箇所 ※ 図示 [2.3.2][表2.3.1] 間仕切り種別 ・ A種 ・ B種 ※ C種 A種、B種の場合 仕上げる材種 ※セっこうボード 厚さ9.5mm ・ 合板(普通合板)厚さ9.0mm 塗装仕上げ等 ・ 行う ※ 行わない 仮設扉設置箇所 ※ 図示 仮設扉種別 ・ 合板張り木製扉程度 ・ 図示																																																				
④ 監督職員事務所	・ 設ける(m程度) ※ 設けない																																																				
5 監督職員の備品等	備品等の設置 [2.4.1] <table><tr><th>備品の種類</th><th>机・椅子</th><th>書 棚</th><th>黒 板</th><th>P C</th><th>掛 時 計</th></tr><tr><td>数 量</td><td>組</td><td>台</td><td>枚</td><td>台</td><td>個</td></tr><tr><th>備品の種類</th><th>温 度 計</th><th>ゴ ム 長 靴</th><th>雨 が つ ば</th><th>保 護 帽</th><th>懐 中 電 灯</th></tr><tr><td>数 量</td><td>個</td><td>足</td><td>着</td><td>個</td><td>個</td></tr><tr><th>備品の種類</th><th>衣類ロッカー</th><th>冷暖房機器</th><th>消 火 器</th><th>湯 沸 器</th><th>加入電話付属器</th></tr><tr><td>数 量</td><td>人用</td><td>台</td><td>個</td><td>台</td><td>台</td></tr><tr><th>備品の種類</th><th>掃 除 具</th><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>数 量</td><td>個</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		備品の種類	机・椅子	書 棚	黒 板	P C	掛 時 計	数 量	組	台	枚	台	個	備品の種類	温 度 計	ゴ ム 長 靴	雨 が つ ば	保 護 帽	懐 中 電 灯	数 量	個	足	着	個	個	備品の種類	衣類ロッカー	冷暖房機器	消 火 器	湯 沸 器	加入電話付属器	数 量	人用	台	個	台	台	備品の種類	掃 除 具					数 量	個							
備品の種類	机・椅子	書 棚	黒 板	P C	掛 時 計																																																
数 量	組	台	枚	台	個																																																
備品の種類	温 度 計	ゴ ム 長 靴	雨 が つ ば	保 護 帽	懐 中 電 灯																																																
数 量	個	足	着	個	個																																																
備品の種類	衣類ロッカー	冷暖房機器	消 火 器	湯 沸 器	加入電話付属器																																																
数 量	人用	台	個	台	台																																																
備品の種類	掃 除 具																																																				
数 量	個																																																				
⑥ 工事用水・電力	構内既存の施設(用水) ○ 利用できる (※ 有償 ・ 無償) ※ 利用できない 構内既存の施設(電力) ○ 利用できる (※ 有償 ・ 無償) ※ 利用できない 構内既存の施設を利用できる場合で、無償の場合は、下記a)～c)による。 a) 既存設備の水栓等から直接水を使用する場合は、監督職員と協議する。 b) 既存のコンセントから直接電力を使用する場合は、監督職員と協議する。 c) 工事用電源を既存建築物から分岐する場合は、原則、既設分電盤の共用回路のコンセントからとする。なお、接続する回路の負荷状態等を確認し、既設負荷への波及がないようにする。 また、漏電遮断器付コンセント等を使用し、安全の確保を図る。 構内既存の施設を利用できる場合で、有償の場合は、上記a)～c)に下記d)～e)を加える。 d) 工事用水は、既存設備に量水器を設けて、仮設配管を施し使用するものとする。 e) 工事用電力は、原則、既存設備に電力計を設けて、仮設配電盤を設置し、使用するものとする。 四国電力送配電網などの架空線に防護管の設置が必要な場合は、監督職員と協議する。																																																				

①

コンクリートの種類・強度・スランブ

※ 普通コンクリート (6.2.1～6.2.2) (6.2.4) (表6.2.2)

設計基準強度 Fc(N/mm2)	スランブ (cm)	適用箇所
※ 21	○ 15 ・ 18	側溝
・ 18	・ 15 ・ 18	
・		

・ 軽量コンクリート

設計基準強度 Fc(N/mm2)	スランブ (cm)	適用箇所
※ 21	・ 15 ・ 18	
・ 18	・ 15 ・ 18	
・		

コンクリートの類別 ※ I 類 ・ II 類 (6.2.1) (表6.2.1)

②

セメントの種類

※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 (6.3.1) (6.13.2)

・ 高炉セメントB種 (適用箇所:)

・ フライアッシュセメントB種 (適用箇所:)

③

骨材

アルカリシリカ反応性による区分 ※ A ・ B (6.3.1)

④

混和材料

・ 混和剤 ※ A E 剤又は A E 減水剤標準形 (JIS A 6204) (6.3.1)

・ 高性能 A E 減水剤標準形 (JIS A 6204)

・

・ 混和材

・ フライアッシュ (・ I 種 ・ II 種 ・ IV 種) (JIS A 6201)

・ コンクリート用高炉スラグ微粉末 (JIS A 6206)

・ コンクリート用シリカフューム (JIS A 6207)

・ コンクリート用膨張材 (JIS A 6202)

⑤

構造体強度補正値 (S)

※表6.3.2による ・ (6.3.2)

6

打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地

打継ぎ目地の寸法 ※ 9.7.3 (1) (7) による ・ (6.6.4) (9.7.3)

ひび割れ誘発目地の位置 ※ 図示 ・ (6.8.1)

ひび割れ誘発目地の形状及び寸法 ※ 9.7.3 (1) (7) による ・ (6.8.1) (9.7.3)

7

打増し厚さ

外部に面するコンクリートの打増し厚さ (mm) (6.8.1)

外壁 ※ 図示 ・ 20 ・ 25 ・

軒天 ※ 図示 ・ 10 ・ 15 ・ 20

その他 ※ 図示 ・ 20

⑧

コンクリートの仕上り

コンクリートの打放し仕上げ

※合板せき板を用いる場合 (6.2.5) (6.8.2) (表6.2.4)

種 別	厚 さ (mm)	施 工 箇 所
○ A 種	※ 12 ・	側溝水路内側
・ B 種	※ 12 ・	
・ C 種	※ 12 ・	

・ せき板の材料として合板を用いない場合

材料 ()

厚 さ ()

9

コンクリートの仕上りの平たんさ

適用部位 ※ 下表 ・ 図示 (6.2.5) (表6.2.5) (15.4.2)

種別	コンクリートの内外装仕上げ	平たんさ	適用部位による仕上げる目安	
			柱・梁・壁	床
a 種	コンクリートが見え掛りとなる場合又は仕上げ厚さが極めて薄い場合その他非常に良好な平たんさ及び良好な表面状態が必要な場合	3mにつき7mm以下	化粧打放しコンクリート 塗装仕上げ 壁紙張り 接着剤による陶磁器質タイル張り	合成樹脂塗床 ビニル系床材張り 床コンクリート直均し仕上げ フローアセフロア (置敷式)
b 種	仕上げ厚さが7mm未満の場合その他良好な平たんさが必要な場合	3mにつき10mm以下	仕上塗材塗り 外装タイル・モルタル張り	カーペット張り 防水下地 セムプレ・リング* 材塗り
c 種	仕上げ厚さが7mm以上の場合又は下地の影響を受けにくい仕上げの場合	1mにつき10mm以下	セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り モルタル塗り 胴縁下地	タイル張り モルタル塗り 二重床

10

スリーブの材種、規格等

※ 下記の通り ・ 図示 (6.8.2) (表6.8.1)

(i) 外壁の地中部分等水密を要する部分に用いるスリーブは、つば付き鋼管とする。

(ii) 地中部分で水密を要しない部分に用いるスリーブは、硬質ポリ塩化ビニル管とする。

(iii) (i) 及び (ii) 以外の円形スリーブは、溶融亜鉛めっき鋼板とし、原則として、筒形の両端を外側に折り曲げてつばを設ける。また、必要に応じて、円筒部を両方から差し込む伸縮形とする。

(iv) 硬質ポリ塩化ビニル管は、防火区画を貫通する場合には使用しない。

なお、柱及び梁以外の箇所、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径が 200mm 以下の部分は、紙チューブとすることができる。

11

床型枠用鋼製デッキプレート

評価名簿による (6.8.3)

使 用 箇 所	厚 さ	備 考

12

軽量コンクリート

(6.10.1) (6.10.2) (表 6.10.1)

種 類	所要気乾単位容積質量 (t/m3)	スランブ	適 用 箇 所
・ 1 種 ・ 2 種	※ 表6.10.1による ・	※21 ・	※ 図示

13

無筋コンクリート (捨コンクリートを除く)

コンクリートの種類 ※ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート (6.14.1)

設計基準強度 Fc(N/mm2)	スランブ (cm)	適 用 箇 所
※ 18 ・	※15 ・ 18	※ 6.14.1 (4) による ・ 図示

金属工事

①

あと施工アンカー

施工後の確認 (引張試験) ・ 行う ○行わない 確認強度 () (14.1.3)

ユニット及びその他工事

①

高尺フェンス

フェンスの種類

・ 樹脂塗装メッシュフェンス ・ ビニル被覆エキスパンドフェンス

・ 樹脂塗装目かしフェンス ・ 格子フェンス

○ 亜鉛メッキネットフェンス ・ アルミフェンス

高さ ※ 図示

メッシュ間隔 ○40mm程度 ・ 50mm程度

○ 金網規格Φ2.6

○ 控え柱あり

排水工事

1

屋外雨水排水

材料

排水管用材料 ※ 表21.2.1による (材種、管の種類、呼び径等は図示による) (21.2.1)

・

側溝の形状及び寸法 ※ 図示

排水樹の種類 ※ 図示

地盤用材料 ・ 切込砂利、切込砕石 ※ 再生クラッシャラン (4.6.2) (21.2.2)

現場打ちの場合のコンクリート

種類 ※ 普通コンクリート

設計基準強度 ※ 18N/mm2

スランブ ※ 15cm ・ 18cm

現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※ S D 295

2

排水樹ふた

(21.2.1)

種 類	形 式	荷重 (安全荷重 (KN))	鍵
鋳鉄製マンホールふた	・ 水封形	・ T- 2用 (5)	・ 有り
	・ 簡易密閉形 (パッキン式)	・ T- 6用 (15)	・ 無し
	・ 密閉形 (テーパー・パッキン式)	・ T-20用 (50)	
	・ 中蓋付密閉形 (テーパー・パッキン式)		

製造所 評価名簿による

③

埋戻し土

・ A 種 ※ B 種 ・ C 種 ・ D 種 (21.2.1) (表3.2.1)

④

グレーチング

○ 鋼製グレーチング (21.2.1)

型 式	用 途	適用荷重	メインバーピッチ		メインバー上面の形状	
			普通目	細 目	平 型	凹凸型
※ 受枠付 ・	○ 溝ふた用 ・ ますふた用 ・ かさあげ用 ・ U 字溝用	○ 歩行用 ・ T- 2用 ・ T- 6用 ・ T-14用 ・ T-20用	・	○	・	○
			・	・	・	・
			・	・	・	・
			・	・	・	・

・ ステンレス製グレーチング

型 式	用 途	適用荷重	メインバーピッチ		メインバー上面の形状	
			普通目	細 目	平 型	凹凸型
※ 受枠付 ・	・ 溝ふた用 ・ ますふた用 ・ かさあげ用 ・ U 字溝用	・ 歩行用 ・ T- 2用 ・ T- 6用 ・ T-14用 ・ T-20用	・	・	・	・
			・	・	・	・
			・	・	・	・
			・	・	・	・

騒音防止ゴム ・ 適用する

製造所 評価名簿による

解体工事

①

解体範囲

※ 図示 (土中解体で図面に記載がない場合は、基礎持コンクリートまでとする。) ・ その他 ()

②

解体作業注意事項

a) 解体機器は圧砕機を主体とし、騒音及び振動等の発生防止に努める。

b) 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、その他の関係法令等によるほか、工事に伴い発生する廃棄物は選別等を行い、リサイクル等再資源化に努めること。

c) 車両の出入りにおいては、道路を泥等で汚さないように留意すること。また、止むを得ず汚した場合は、速やかに清掃すること。

d) 解体作業中は散水等を行い、粉塵等の飛散防止に努め、廃材搬出車両には、飛散防止用のシートを被せて運行すること。

e) 工事作業者の通勤用車両での乗り込みは最小限に留め、全ての工事関係車両は進入路及び敷地内では徐行運転すること。

f) 工事関係車両は、周辺道路での待機及び路上駐車は行わないこと。

g) 施設関係者、通行者、近隣等に危害が及ばぬよう、騒音及び振動、工事関係車両の通行等に注意すること。

h) P C B が含まれる機器類が発見された場合は、監督職員に報告すること。また、その P C B を含む機器類については、高知市が指示する場所に保管すること。

i) 以上の項目は受注者はもとより下請業者にも、周知徹底させること。

3

作業時間等

資材、機材の搬入は朝夕の交通ラッシュ時には行わないこと。

4

騒音測定等

解体作業中はデジタル式の (・ 騒音計 ・ 振動計) を設置し、記録すること。また、記録したものを報告書として提出すること。なお、関連法令で定める数値を上回った場合は、作業を中止し、監督職員に速やかに報告すること。

測定点 ※ 敷地境界 () かつ所: 詳細な位置は監督職員と協議による

・ 図示 ・ その他 ()

5

その他

・ 電灯等は、別途設備工事で撤去することとする。

・ 工事現場着手は電気及び機械設備工事の切り替え後とする。

防球ネット工事

①

ネット

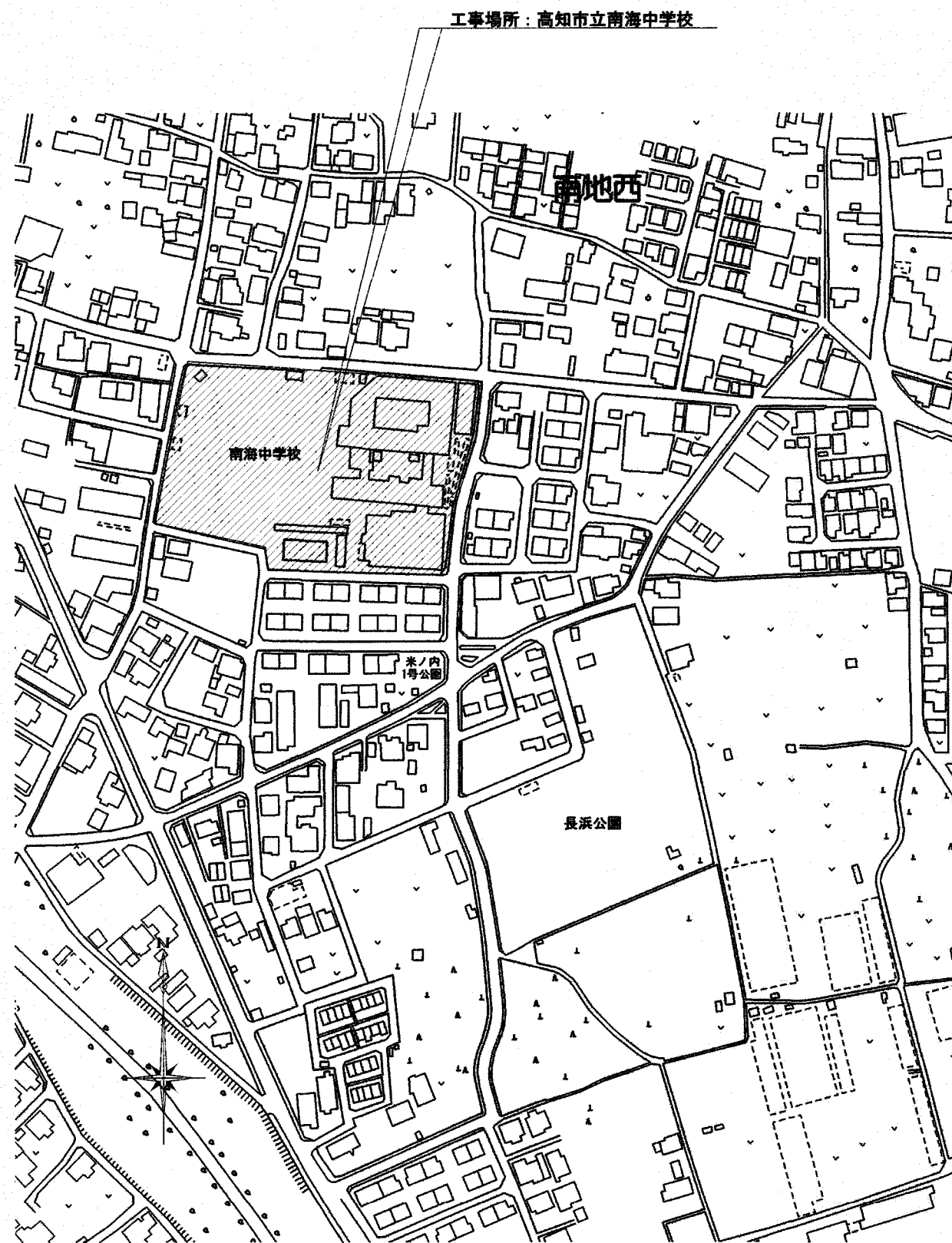
ポリエステルネット 40mm目 (色: グリーン、365T/56本程度)

②

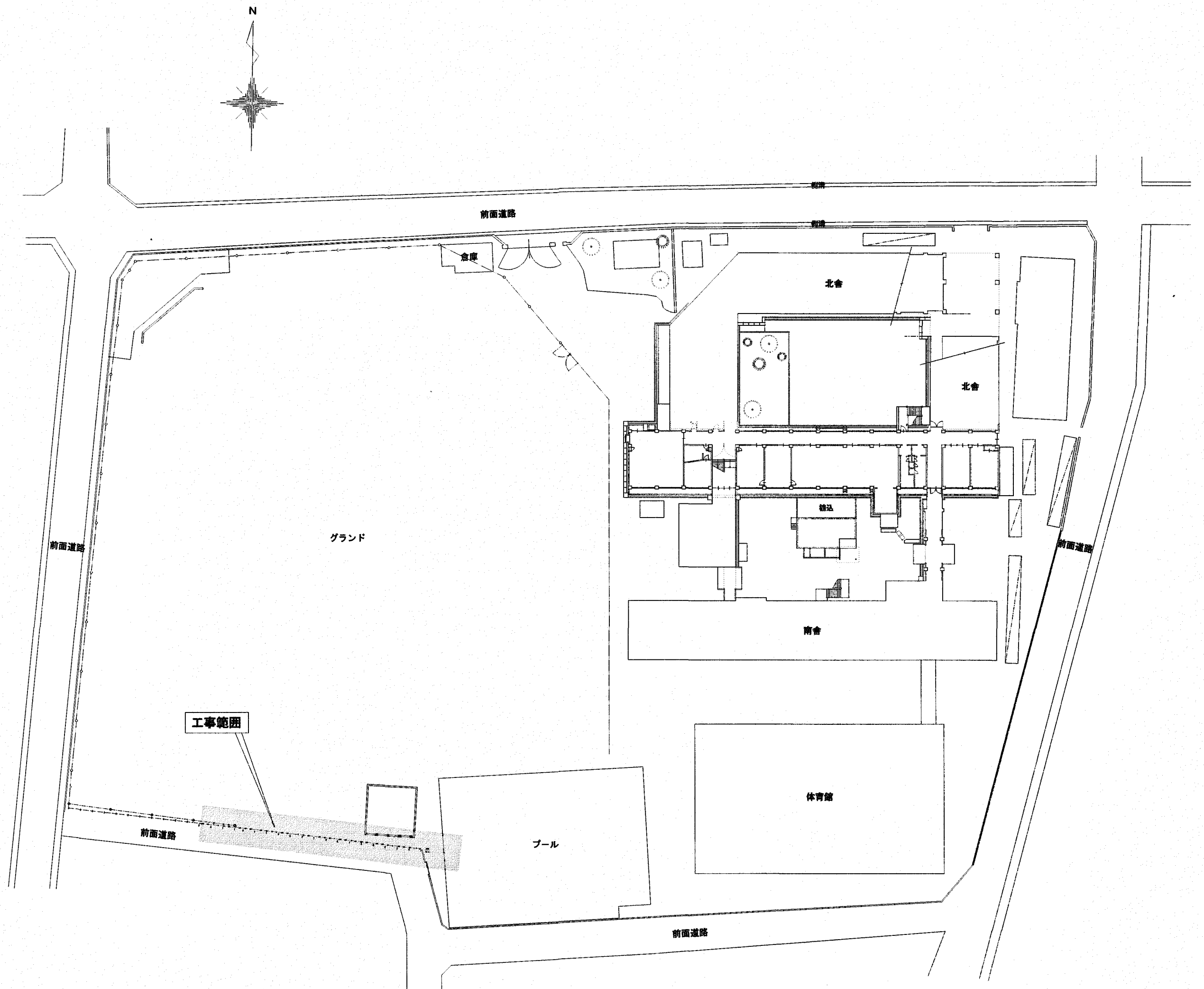
ネット付属金物

特記なき金物は溶融亜鉛めっき品とする。

記 事	 段 建築設計事務所 有限会社 〒781-0250 高知市瀬戸2-1-1 TEL&FAX 088-848-1286 高知県知事登録第831号 一級建築士 大臣登録第203220号 徳 廣 賢 一	作 成	承 認	工事名	南海中学校南側防球ネット改修工事	SCALE	図 番	保 係 長 課長補佐 課 長
				図面名	改修特記仕様書 (3)		A -3	   



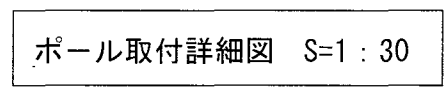
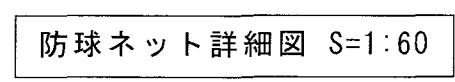
付近見取図

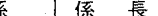


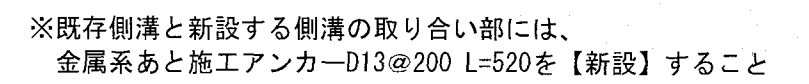
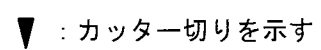
全体配置図 S=1:600

記事		段 建築設計事務所有限公司	〒781-0250 高知市瀬戸2-1-1 高知県知事登録第831号 一級建築士 大臣登録第203220号	TEL&FAX 088-848-1286 徳 廣 賢 一	作成	承認	工事名	南海中学校南側防球ネット改修工事		SCALE	図 番	係	係 長	課長補佐	課 長
							図面名	付近見取図・全体配置図		S=1:600	A-4				

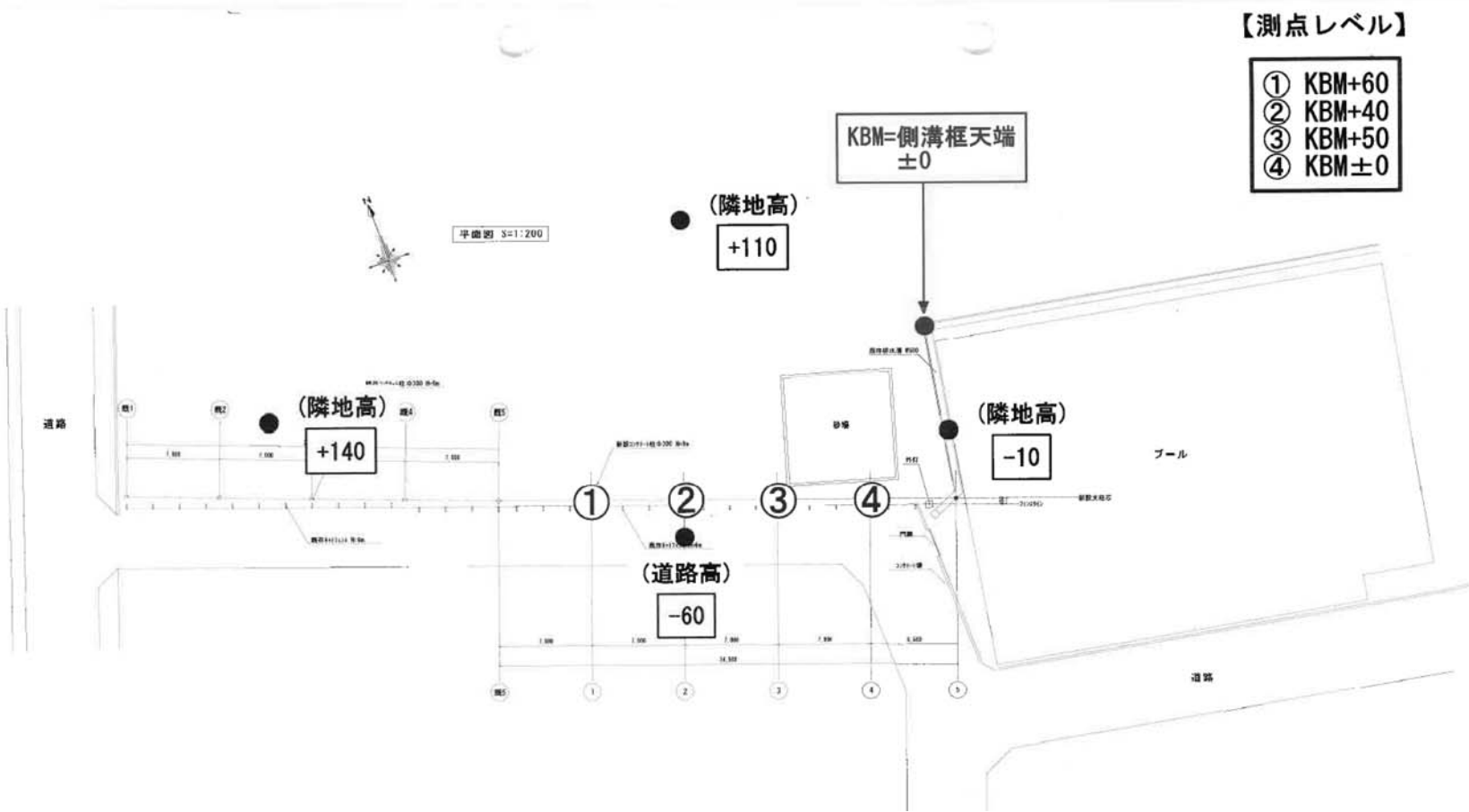
[illegible]



記事	 段 建築設計事務所 有限会社	〒781-0250 高知市瀬戸2-1-1 高知県知事登録第831号 一級建築士 大臣登録第203220号	TEL&FAX 088-848-1286 徳 廣 賢 一	作 成	承 認	工事名	南海中学校南側防球ネット改修工事	SCALE	図 番	係	係 長	課長補佐	課 長
						図面名	詳細図②	S=1 : 60 S=1 : 30	A - 8				



記 事	【 】なきものは、既存のままとする	 段 建築設計事務所 有限会社	〒781-0250 高知市瀬戸2-1-1	TEL&FAX 088-848-1286	作 成	承 認	工事名	南海中学校南側防球ネット改修工事	SCALE	図 番	係	係 長	課長補佐	課 長
	高知県知事登録第831号				一級建築士 大臣登録第203220号	徳 廣 賢 一	図面名	側溝改修図	S=1:100 S=1:40 S=1:20	A - 9				



測定位置平面図

①

スクリーウエイト貫入試験結果

管理番号	G2025-096-00310-02 / No.20250604164			調査名	南海中学校防球ネット支柱 改修工事		
調査地住所	高知県高知市長浜			測点番号	1		
試験深度	5.00 m			調査者	山下 智史		
年・月・日	2025年06月27日	調査時刻	13:35 ~ 13:55		標高	BGM 0.00 m	
緯度・経度	北緯: 33° 27' 08" (33° 27' 48.91")	東経: 133° 33' 05" (133° 32' 46.36")		水位	QL- 確認できず m		
シリアル番号	本体: 3G119	制御装置: 3G119		試験装置	ジオカルテ直 天候 晴		

記 事					荷重 (kN)	貫入量 1 m 当り 半回転数 N ₅₀	推 定 柱状図	推定 水位 (m)	換算 N値 (回)	換算 q _a (kN/m ²)
音・振動	貫入状況									
0.25	25	1.00	自沈	0	25 30 35	38 39 100 200 300			2.0	30
0.50	25	1.00	2.0	8					2.5	34
0.75	25	1.00	36.0	120	ジャリジャリ				10.0	102
1.00	25	1.00	自沈	0					2.0	30
1.25	25	1.00	自沈	0	無回転抵抗				2.0	30
1.50	25	1.00	自沈	0					2.0	30
1.75	25	1.00	13.0	52					6.4	41
2.00	25	1.00	23.0	92					8.1	45
2.25	25	1.00	20.0	80					7.3	38
2.50	25	1.00	21.0	84					7.6	40
2.75	25	1.00	26.0	104					8.9	42
3.00	25	1.00	31.0	124	ジャリジャリ				10.3	104
3.25	25	1.00	37.0	148	ジャリジャリ				11.9	118
3.50	25	1.00	29.0	116					9.7	99
3.75	25	1.00	27.0	108	ジャリジャリ				9.2	94
4.00	25	1.00	45.0	200	ジャリジャリ				14.0	120
4.25	25	1.00	65.0	260	ジャリジャリ				19.4	120
4.50	25	1.00	103.0	412	ジャリジャリ	振打撃貫入			20.0	120
4.75	25	1.00	117.0	468	ジャリジャリ	振打撃貫入			20.0	120
5.00	25	1.00	153.0	612	ジャリジャリ	振打撃貫入			20.0	120

土質凡例

砂質硬土

砂質土

砂

砂質硬土

砂質土

砂

砂質硬土

砂質土

砂

砂質硬土

砂質土

砂

※ 太枠内のデータが電子記録対象となります。

②

スクリーウエイト貫入試験結果

管理番号	C2025-096-00310-02 / No.20250604164				調査名	南海中学校防球ネット支柱 改修工事					
調査地住所	高知県高知市長浜				測点番号	2					
試験深度	5.00 m				調査者	山下 智史					
年月日	2025年06月27日		調査時刻	14:00 ~ 14:30		標高	KBM	0.04	m		
緯度・経度	北緯: 33° 27' 02" (33° 27' 46.54")		東 経:	133° 33' 04" (133° 32' 46.17")		水位	GL-	確認できず m			
シリアル番号	本体: 3G119		制御装置	3G119		試験装置	ジオカルテ直 天候 晴				
貫入深さ P (m)	貫入量 L (cm)	荷重 F ₅₀ (kN)	半回転 数 N ₅₀ (回)	1m当り 半回転 数 N ₅₀ (回)	記 事 音・振動 貫入状況	荷重 F ₁₀₀ (kN)	貫入量 1m当り 半回転数 N ₅₀	推 定 柱状図	推定 水位 (a)	換算 N値 (回)	換 算 q _a (kN/m ²)
						25 30 35	38 39 100 200 300				
2.25	25	1.00	自沈	0						2.0	30
0.50	25	0.50	自沈	0						1.0	15
0.75	25	0.50	自沈	0						1.0	15
1.00	25	0.50	自沈	0	無回転抵抗					1.0	15
1.25	25	0.50	自沈	0	無回転抵抗					1.0	15
1.50	25	1.00	16.0	40	ジャリジャリ					4.6	34
1.75	25	1.00	25.0	100	ジャリジャリ					8.7	90
2.00	25	1.00	32.0	128	ジャリジャリ					10.5	106
2.25	25	1.00	45.0	180	ジャリジャリ					14.0	120
2.50	25	1.00	43.0	172	ジャリジャリ					13.5	120
2.75	25	1.00	44.0	176	ジャリジャリ					13.7	120
3.00	25	1.00	56.0	224	ジャリジャリ					17.0	120
3.25	25	1.00	57.0	228	ジャリジャリ					17.2	120
3.50	25	1.00	59.0	236	ジャリジャリ					17.9	120
3.75	25	1.00	37.0	148	ジャリジャリ					11.1	119
4.00	25	1.00	34.0	136	ジャリジャリ					11.9	118
4.25	25	1.00	60.0	240	ジャリジャリ					18.0	121
4.50	25	1.00	96.0	392	ジャリジャリ					20.0	120
4.75	25	1.00	136.0	544	ジャリジャリ	強打響貫入				20.0	120
5.00	25	1.00	151.0	644	ジャリジャリ	強打響貫入				20.0	120

土質凡例

砂質硬土

砂質土

圧入部

自沈部

③

スクリーウエイト貫入試験結果

管理番号	C2025-096-00310-02 / No.20250604164			調査名	南海中学校防球ネット支柱 改修工事																																																																																																																																																																																																																																					
調査地住所	高知県高知市長浜			測点番号	3																																																																																																																																																																																																																																					
試験深度	4.50 m			調査者	山下 智史																																																																																																																																																																																																																																					
年 月 日	2025年06月27日		調査時刻	14:38 ~ 15:00		標 高	KBM 0.05 m																																																																																																																																																																																																																																			
緯度・経度	北 緯 : 33° 27' 01" (33° 27' 46.44")		東 経 :	133° 33' 04" (133° 32' 46.17")		水 位	QL- 3.00 m																																																																																																																																																																																																																																			
シリアル番号	本 体 : 3G119		制御装置 :	3G119		試験装置	ジオカルテ直 天候 晴																																																																																																																																																																																																																																			
<table><tr><th>貫入深さ P (m)</th><th>貫入量 L (cm)</th><th>荷重 F₅₀ (kN)</th><th>半回転 数 N₅₀ (回)</th><th>1m当り 半回転 数 N₅₀ (回)</th><th>記 事 音・振動 貫入状況</th><th>荷重 F₁₀₀ (kN)</th><th>貫入量 1m当り 半回転数 N₅₀ (回)</th><th>推 定 柱状図</th><th>換算 N値 (回)</th><th>換算 q_a (kN/m²)</th></tr><tr><td>0.25</td><td>25</td><td>1.00</td><td>自沈</td><td>0</td><td>無回転抵抗</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2.0</td><td>30</td></tr><tr><td>0.50</td><td>25</td><td>1.00</td><td>自沈</td><td>0</td><td>無回転抵抗</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2.0</td><td>30</td></tr><tr><td>0.75</td><td>25</td><td>0.50</td><td>自沈</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1.5</td><td>15</td></tr><tr><td>1.00</td><td>25</td><td>0.75</td><td>自沈</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1.5</td><td>22</td></tr><tr><td>1.25</td><td>25</td><td>0.75</td><td>自沈</td><td>0</td><td>無回転抵抗</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1.5</td><td>22</td></tr><tr><td>1.50</td><td>25</td><td>0.75</td><td>自沈</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1.5</td><td>22</td></tr><tr><td>1.75</td><td>25</td><td>1.00</td><td>7.0</td><td>28</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3.8</td><td>46</td></tr><tr><td>2.00</td><td>25</td><td>1.00</td><td>25.0</td><td>100</td><td>ジャリジャリ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>8.7</td><td>90</td></tr><tr><td>2.25</td><td>25</td><td>1.00</td><td>34.0</td><td>136</td><td>ジャリジャリ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>11.1</td><td>111</td></tr><tr><td>2.50</td><td>25</td><td>1.00</td><td>35.0</td><td>140</td><td>ジャリジャリ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>11.3</td><td>114</td></tr><tr><td>2.75</td><td>25</td><td>1.00</td><td>31.0</td><td>124</td><td>ジャリジャリ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>10.3</td><td>104</td></tr><tr><td>3.00</td><td>25</td><td>1.00</td><td>36.0</td><td>144</td><td>ジャリジャリ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>11.6</td><td>116</td></tr><tr><td>3.25</td><td>25</td><td>1.00</td><td>37.0</td><td>148</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>11.9</td><td>118</td></tr><tr><td>3.50</td><td>25</td><td>1.00</td><td>46.0</td><td>184</td><td>ジャリジャリ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>14.3</td><td>120</td></tr><tr><td>3.75</td><td>25</td><td>1.00</td><td>91.0</td><td>364</td><td>ジャリジャリ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>20.0</td><td>120</td></tr><tr><td>4.00</td><td>25</td><td>1.00</td><td>97.0</td><td>388</td><td>ジャリジャリ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>20.0</td><td>120</td></tr><tr><td>4.25</td><td>25</td><td>1.00</td><td>91.0</td><td>364</td><td>ジャリジャリ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>20.0</td><td>120</td></tr><tr><td>4.50</td><td>25</td><td>1.00</td><td>156.0</td><td>624</td><td>ジャリジャリ</td><td>湧け型貫入</td><td></td><td></td><td></td><td>20.0</td><td>120</td></tr></table>								貫入深さ P (m)	貫入量 L (cm)	荷重 F ₅₀ (kN)	半回転 数 N ₅₀ (回)	1m当り 半回転 数 N ₅₀ (回)	記 事 音・振動 貫入状況	荷重 F ₁₀₀ (kN)	貫入量 1m当り 半回転数 N ₅₀ (回)	推 定 柱状図	換算 N値 (回)	換算 q _a (kN/m ²)	0.25	25	1.00	自沈	0	無回転抵抗					2.0	30	0.50	25	1.00	自沈	0	無回転抵抗					2.0	30	0.75	25	0.50	自沈	0						1.5	15	1.00	25	0.75	自沈	0						1.5	22	1.25	25	0.75	自沈	0	無回転抵抗					1.5	22	1.50	25	0.75	自沈	0						1.5	22	1.75	25	1.00	7.0	28						3.8	46	2.00	25	1.00	25.0	100	ジャリジャリ					8.7	90	2.25	25	1.00	34.0	136	ジャリジャリ					11.1	111	2.50	25	1.00	35.0	140	ジャリジャリ					11.3	114	2.75	25	1.00	31.0	124	ジャリジャリ					10.3	104	3.00	25	1.00	36.0	144	ジャリジャリ					11.6	116	3.25	25	1.00	37.0	148						11.9	118	3.50	25	1.00	46.0	184	ジャリジャリ					14.3	120	3.75	25	1.00	91.0	364	ジャリジャリ					20.0	120	4.00	25	1.00	97.0	388	ジャリジャリ					20.0	120	4.25	25	1.00	91.0	364	ジャリジャリ					20.0	120	4.50	25	1.00	156.0	624	ジャリジャリ	湧け型貫入				20.0	120
貫入深さ P (m)	貫入量 L (cm)	荷重 F ₅₀ (kN)	半回転 数 N ₅₀ (回)	1m当り 半回転 数 N ₅₀ (回)	記 事 音・振動 貫入状況	荷重 F ₁₀₀ (kN)	貫入量 1m当り 半回転数 N ₅₀ (回)	推 定 柱状図	換算 N値 (回)	換算 q _a (kN/m ²)																																																																																																																																																																																																																																
0.25	25	1.00	自沈	0	無回転抵抗					2.0	30																																																																																																																																																																																																																															
0.50	25	1.00	自沈	0	無回転抵抗					2.0	30																																																																																																																																																																																																																															
0.75	25	0.50	自沈	0						1.5	15																																																																																																																																																																																																																															
1.00	25	0.75	自沈	0						1.5	22																																																																																																																																																																																																																															
1.25	25	0.75	自沈	0	無回転抵抗					1.5	22																																																																																																																																																																																																																															
1.50	25	0.75	自沈	0						1.5	22																																																																																																																																																																																																																															
1.75	25	1.00	7.0	28						3.8	46																																																																																																																																																																																																																															
2.00	25	1.00	25.0	100	ジャリジャリ					8.7	90																																																																																																																																																																																																																															
2.25	25	1.00	34.0	136	ジャリジャリ					11.1	111																																																																																																																																																																																																																															
2.50	25	1.00	35.0	140	ジャリジャリ					11.3	114																																																																																																																																																																																																																															
2.75	25	1.00	31.0	124	ジャリジャリ					10.3	104																																																																																																																																																																																																																															
3.00	25	1.00	36.0	144	ジャリジャリ					11.6	116																																																																																																																																																																																																																															
3.25	25	1.00	37.0	148						11.9	118																																																																																																																																																																																																																															
3.50	25	1.00	46.0	184	ジャリジャリ					14.3	120																																																																																																																																																																																																																															
3.75	25	1.00	91.0	364	ジャリジャリ					20.0	120																																																																																																																																																																																																																															
4.00	25	1.00	97.0	388	ジャリジャリ					20.0	120																																																																																																																																																																																																																															
4.25	25	1.00	91.0	364	ジャリジャリ					20.0	120																																																																																																																																																																																																																															
4.50	25	1.00	156.0	624	ジャリジャリ	湧け型貫入				20.0	120																																																																																																																																																																																																																															
								</																																																																																																																																																																																																																																		

※ 太枠内のデータが電子記録対象となります。

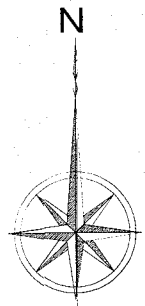
④

スクリーウエイト貫入試験結果

管理番号		G2025-096-00310-02 / No.20250604164				調査名		南海中学校防球ネット支柱 改修工事					
調査地住所		高知県高知市長浜				測点番号		4					
試験深度		4.25 m				調査者		山下 智史					
年月日		2025年06月27日		調査時刻		15:06 ~		15:30		標高		KBM 0.00 m	
緯度・経度		北緯 : 33°27' 00" (33° 27' 46.05")		東 経 :		133°32' 46.17" (133° 32' 46.17")		水位		GL- 確認できず		m	
シリアル番号		本体 : 3G1119		制御装置		3G1119		試験装置		ジオカルテ直		天候 晴	
記事													
貫入深さ P (m)		貫入量 L (cm)		荷重 F ₅₀ (kN)		半回転数 N ₅₀ (回)		1m当り 半回転数 N ₅₀ (回)		音・感動		貫入状況	
										21 99 77		99 130 100 330 250	
0.25		25		1.00		11.0		44		ジャリジャリ			
0.50		25		1.00		14.0		56		ジャリジャリ			
0.75		25		1.00		3.0		12					
1.00		25		1.00		1.0		4					
1.25		25		1.00		1.0		4					
1.50		25		1.00		12.0		48					
1.75		25		1.00		28.0		112		ジャリジャリ			
2.00		25		1.00		37.0		148		ジャリジャリ			
2.25		25		1.00		45.0		184		ジャリジャリ			
2.50		25		1.00		50.0		200		ジャリジャリ			
2.75		25		1.00		48.0		192		ジャリジャリ			
3.00		25		1.00		46.0		184		ジャリジャリ			
3.25		25		1.00		47.0		188		ジャリジャリ			
3.50		25		1.00		87.0		348		ジャリジャリ			
3.75		25		1.00		95.0		380		ジャリジャリ			
4.00		25		1.00		163.0		652		ジャリジャリ		強打撃貫入	
4.25		25		1.00		165.0		660		ジャリジャリ		強打撃貫入	

【参考図】

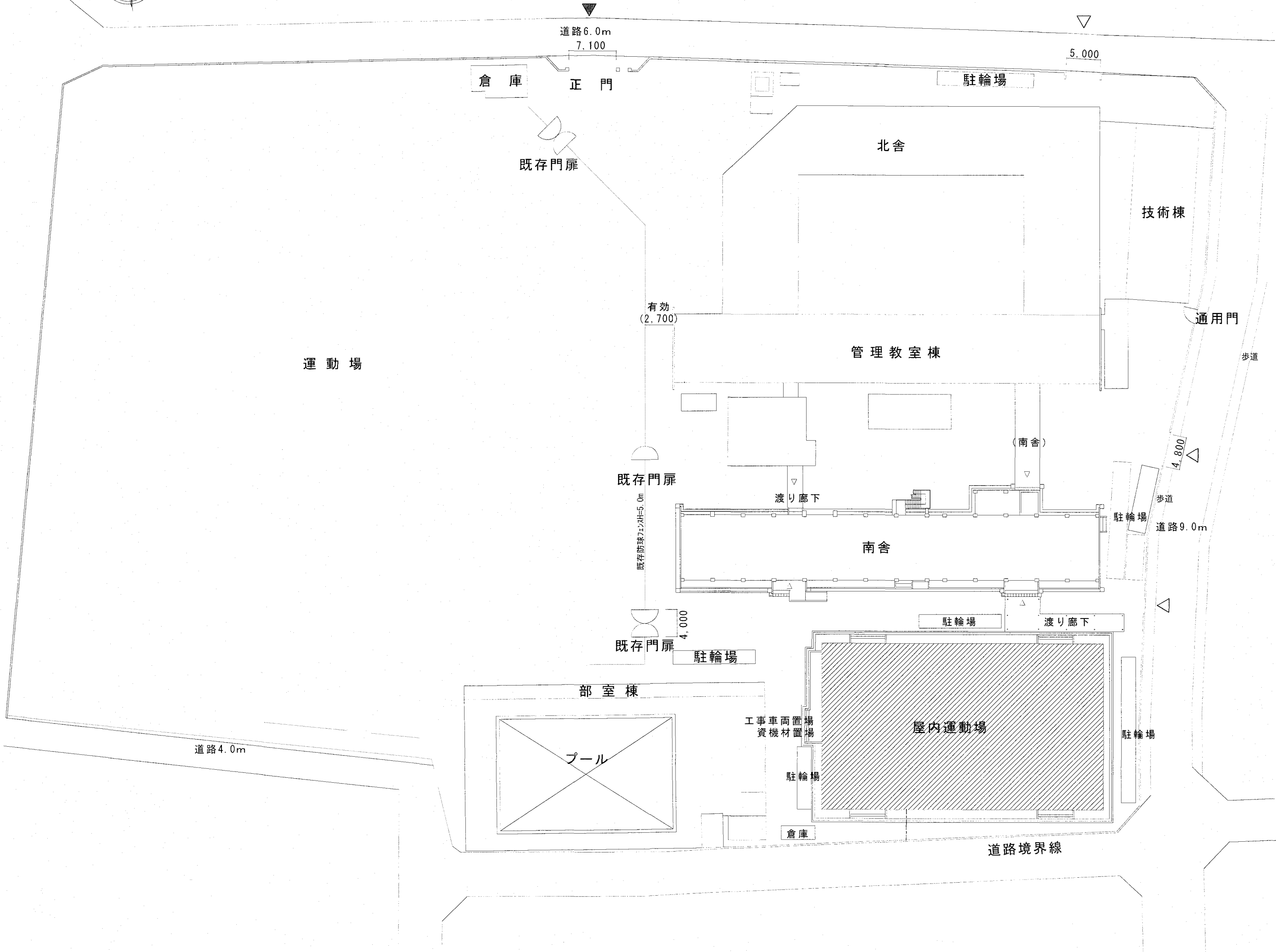
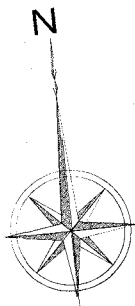
記事		 段 建築設計事務所 有限会社 〒781-0250 高知市瀬戸2-1-1 TEL&FAX 088-848-1286 高知県知事登録第831号 一級建築士 大臣登録第203220号 徳 廣 賢 一	作 成	承 認	工事名	南海中学校南側防球ネット改修工事		SCALE	図 番	係	係 長	課長補佐	課 長
					図面名	【参考図】地盤柱状図			A - 10				



付近見取図 S=1/5,000

- 工事対象建築物
- 工事車両出入口
- 学校関係者出入口
- 仮囲い ガートフェンス1.8m程度

※ 施工条件・安全対策など
・施設を利用しながらの工事となるので、作業時間・内容・大きな騒音又は振動を伴う作業については施設管理者と協議のうえ、作業時間を指定する場合がある。
・登校時間帯午前8時00分から午前8時30分は工事車両の出入りを禁止する。
・昇降用足場は仮囲い内とする。
※ 現場作業不可日（予定は変更となる可能性があるため事前に施設管理者に確認すること。）
11月14日、11月18日、12月16日、1月30日
音出し作業不可日
11月12日、11月27日、11月28日、12月3日、12月8日、12月9日、12月25日AM、1月9日



配置図兼仮設計画図 S=1/500

【参考図】

記事			作成	承認	工事名	SCALE	図番	係	係長	課長補佐	課長
					図面名						
					南海中学校屋内運動場防水改修工事						
					【参考図】別途工事 付近見取図・配置図兼仮設計画図	S=1：500	A - 11				